

半田商工会議所創立130周年記念



医師とピアニストの二刀流

モデレーター

沢田蒼梧
ピアノリサイタル

前田正信
トークセッション



半田市から世界へ

2021年第18回シヨパン国際ピアノコンクール

本大会二次審査進出

医師とピアニスト、

二刀流の道を歩み始めた彼は

どんな人生の選択をして来たのか

沢田蒼梧氏が見てきた世界とは

© Chopin Institute

入場無料

2023 11.24 (金)

16:00-17:30 [15:30開場予定]

全自由席(一部招待席有)・未就学児入場不可

半田市福祉文化会館

(雁宿ホール) 半田市雁宿町1丁目22-1

プログラム ショパン/ピアノソナタ第2番 変ロ短調 op.35 他

半田商工会議所創立130周年を記念し、半田市出身・在住の沢田蒼梧氏と武豊町出身・半田高等学校卒業の前田正信氏をお招きし、ピアノリサイタル&トークセッションを開催いたします。

※来場の折は、後日お送りする受付チケットをご持参ください(入場時に必要となります)
※会場駐車場が満車になる場合もございますので、公共交通機関のご利用、送迎、乗り合わせ等での来場にご協力願います。



お申し込みはこちらから

お問い合わせ: 半田商工会議所 創立130周年特別委員会 TEL: 0569-21-0311

医師とピアニストの二刀流

モデレーター

沢田蒼梧
ピアノリサイタル

前田正信
トークセッション

入場無料

2023 11.24 (金)

16:00-17:30 [15:30開場予定]

全自由席(一部招待席有)・未就学児入場不可

半田市福祉文化会館
(雁宿ホール)

半田市雁宿町1丁目22-1

記念プログラム出演者



沢田 蒼梧 (さわだ そうご)

1998年生まれ。半田市出身。6歳よりマツイシ楽器店ヤマハ音楽教室でピアノを始める。医学との二刀流で数々の権威ある国際コンクールに出場、NHK「ショパンに挑みし者たち～2021ショパン国際ピアノコンクール～」 「さらさらサラダ」出演を始め、TV・新聞・雑誌等多くのメディアで取り上げられる。東京シティ・フィル、大阪交響楽団、名古屋フィル、中部フィル等と共演。紀尾井ホール、いずみホール、しらかわホールを始めとする国内各地およびワルシャワにてリサイタル開催。東海中学校・高等学校6年連続首席卒業。名古屋大学総長顕彰受賞。2023年3月名古屋大学医学部を卒業、4月より研修医として勤務。



前田 正信 (まえだ まさのぶ)

1950年生まれ、武豊町出身。名古屋大学医学部卒業。先天性心疾患手術の発展(無輸血体外循環手術/新生児開心術)に寄与。あいち小児保健医療総合センターの開設、小児周産期救急棟増設。この時に沢田蒼梧さんのピアノ演奏とトークを小児センター内で開催。以来親交を深める。半田高校(卓球部主将、県ベスト8)、名古屋大学医学部(全学卓球部主将、1部リーグ、ピンポン外交1971世界選手権大会審判)。現在一宮医療療育センター、各種医療系学生教育、あいち小児保健医療総合センター名誉センター長。

ショパン国際ピアノコンクール

International Chopin Piano Competition

第一次世界大戦の終結を経てポーランドが一国家として独立してから9年後にあたる1927年に第1回大会を開催。現存する国際ピアノコンクールの中では世界最古とされ、最も権威あるピアノコンクールの一つと認識されている。現在はポーランド国立フレデリック・ショパン研究所がコンクールを主催。ポーランド生まれの作曲家兼ピアニストで「ピアノの詩人」の異名でも知られるフレデリック・ショパンの曲の解釈者を発掘することを開催理念として掲げており、コンクール課題曲は全てショパン作品のみ。出場資格は16～30歳で、5年に一度ポーランドの首都ワルシャワで開催される。2020年開催予定だった第18回ショパン国際ピアノコンクールは、コロナの影響で2021年に延期された。

第18回大会には世界中から過去最高の500人を超えるコンテスト参加者が挑み、映像音源審査を通過した164名が7月に現地で開催された予備審査を受け、10月の本大会には87名の選りすぐりのピアニストたちが出場。二次審査進出者は45名。

4年に一度開催されるオリンピックには10,000人を超える選手が参加し、テニスのウィンブルドンは毎年開催され850名を超える選手が出場されると言われるなか、5年に一度しか開催されないショパン国際ピアノコンクール本大会への出場は、スポーツや他の芸術の世界に比較しても特出した快挙と言える。